

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月27日		記入者	内線	3815
部名	消防本部	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
事務事業名	消防団福利事業				
予算上の事務事業名	消防団福利費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施策名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
消防組織法第15条の8 相模原市消防団員の退職報償金に関する条例					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
5年以上勤務した消防団員に対し、退団時に退職金を支給し消防団員の福利を図るため、消防団員等公務災害補償等共済基金へ掛金を支払うもの。			消防団員		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
平成16年度途中退団者のうち2名に対し、323,000円を指定された金融機関の口座へ振込み支給した。 平成16年度未退団者のうち41名に対し、8,609,000円の振込み支給を処理中。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
退職報償金については、政令で示されているが各都市の条例により金額が定められていることから、必ずしも統一されていない。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	15,919,283	15,919,283	16,673,663	16,674,000	16,674,000
一般財源	15,919,283	15,919,283	16,673,663	16,674,000	16,674,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	69	66	66	67	67
事業コスト合計(a)	15,919,352	15,919,349	16,673,729	16,674,067	16,674,067
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	消防団福利事業			対象名称(単位)	消防団員762名
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	15,919,352	15,919,349	16,673,729	16,674,067	16,674,067
対象数	762	762	762	762	762
単位あたり経費(円)	20,891,538	20,891,534	21,881,534	21,881,978	21,881,978
前年度比		1.00	1.05	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	退職報償金制度加入人員		指標式と指標の説明 定員（目標）と退職報償金対象人員（実績）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	55.0	53.0	43.0		
目標	762	15,919,283	762	762	762
目標達成度	0.07	0.00	0.06		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	退職報償金収入金額		指標式と指標の説明 退職報償金等掛金（目標）と退職報償金収入（実績）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	10,270,000	11,913,000	8,932,000		
目標	15,919,283	15,919,283	16,673,663	16,674,000	16,674,000
目標達成度	64.5	74.8	53.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		消防団員退職報償金は、消防団員が永年勤続して退職した場合に、その苦勞に報いるため支給されるもので、消防組織法第15条の8及び相模原市消防団員の退職報償金に関する条例（規則）に規定されている。このことから、消防団員の福利を維持するために退職報償金掛金が必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			